

となみ野田園空間博物館

※となみ野田園空間博物館とは、砺波平野の散居景観、美しい自然や伝統文化を持つ「となみ野」全体が博物館ということの意味しています。

砺波平野の散居村

砺波平野の散居村は「カイニョ」と呼ばれる屋敷林に囲まれた家が点在し、緑に覆われた小島が大海原に浮かぶ姿に似て大変美しく、日本の農村の原風景といわれています。砺波平野の散居村は、全国でも最大規模のものです。

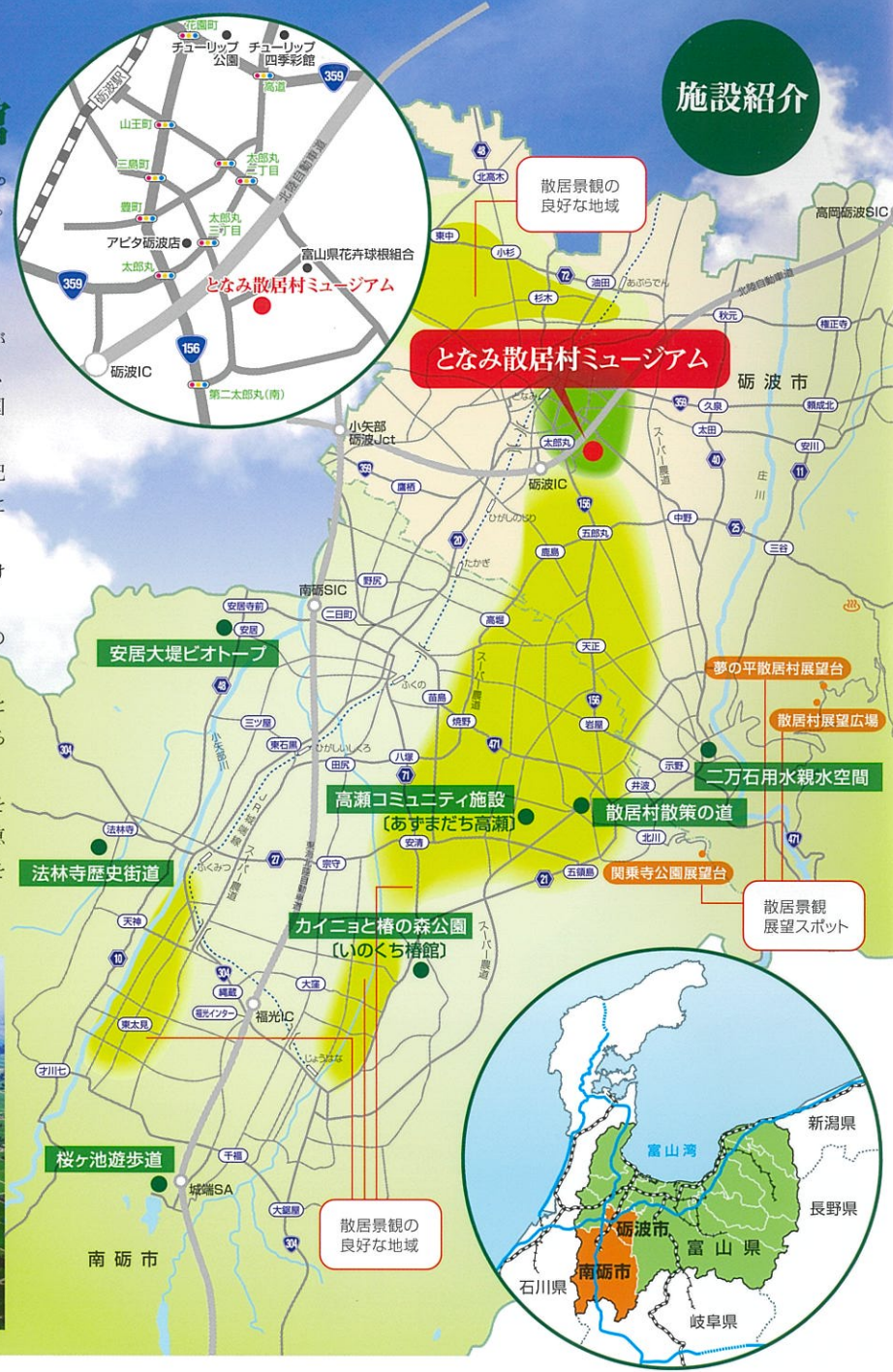
砺波平野の散居村の起源として、東大寺の正倉院に伝わる8世紀の東大寺開田地図の中に散居村ととれる表現があることから、古代にさかのぼるとい説があります。

なお、現在のような散居村が形成され始めたのは、中世から近世にかけて庄川の位置が今のように定まってからだとされています。

その状況としては、庄川扇状地の未開拓地を開くにあたり、微高地の耕土の厚いところを選んで住居を定め、その周囲を開いていきました。

庄川扇状地は、水の豊かな扇状地であり、どこでも容易に水を引くことができ地形的な制約というものがありませんでした。そのため、家々は散らばり、それぞれの周囲を耕作するような散居村の形ができました。

先人たちは、庄川の豊かできれいな水と緑に育まれた大地と四季を通した営みの中で、散居村独特の生活文化を育んできました。様々な知恵や工夫が息づく散居村は、人と自然の共生の空間であり豊かな感性を育む空間として、次世代へと引き継いでいく貴重な財産なのです。



施設紹介

- 散居景観の良好な地域
- となみ散居村ミュージアム
- 高瀬コミュニティ施設 (あずまだち高瀬)
- 散居村散策の道
- 散居景観展望スポット
- 安居大堤ピオターフ
- 法林寺歴史街道
- カイニョと榎の森公園 (いのくち榎館)
- 二万石用水親水空間
- 散居村展望広場
- 夢の平散居村展望台
- 関興寺公園展望台
- 桜ヶ池遊歩道
- 散居景観の良好な地域

となみ野田園空間博物館
美しい散居景観は、豊かな水と緑のあふれる癒しの宝庫です。

となみ散居村ミュージアム

お問い合わせ

となみ散居村ミュージアム

tel.0763-34-7180 fax.0763-34-7182

〒939-1363 富山県砺波市太郎丸80番地(北陸自動車道砺波ICより車で約5分)
開館時間/午前9時～午後6時(入館は午後5時30分まで:施設利用は午後9時まで)
休館日/毎週水曜日・毎月第3木曜日(休日を除く)・12月29日～1月3日
E-mail/info@sankyoson.com URL/http://www.sankyoson.com/



入館料 ※民具館以外の施設は無料です。

民具館	区分	金額	
		個人	20人以上の団体
	高校生以上	100円	80円
	身体障害者手帳等の所持者及び介助者	無料	

施設利用料 ※施設利用の詳細については、お問合せください。

情報館	部屋	時間帯					
		9～12時	12～17時	17～21時	9～17時	12～21時	
	研修室	3,140円	5,240円	4,190円	7,540円	8,490円	11,310円

交流館	部屋	時間帯		
		9～13時	13～17時	17～21時
1階	居間・食堂	840円	840円	840円
	座敷1・2(16畳)	630円	630円	630円
2階	部屋1(15畳)	630円	630円	630円
	部屋2(6畳)	420円	420円	420円
	部屋3(6畳)	420円	420円	420円
	部屋4(20畳)	630円	630円	630円

伝統館	部屋	時間帯	
		9～13時	13～18時
1階	チャノマ	420円	520円
	オイ	420円	520円
	クチザシキ・オクザシキ	420円	520円
	エンヘヤ	420円	520円

民具館	多目的室	2,100円	2,620円
-----	------	--------	--------



tonami sankyoson museum



昔の暮らしを伝える

伝統館



この伝統館は、大正から昭和初期にかけての砺波地方の伝統的な家屋様式の「アズマダチ」を復元したものです。

旧家屋は、大正4年に建築され、築90年を経過した建物で昭和33年に一度増改築されています。延べ床面積は198坪(1階67坪、2階31坪)でした。復元した建物は、妻側の白壁、「ネワ」の土間、大屋根と下屋のバランス、「オイ」の建具、「ゲンカ」のサマノコ(千本格子)など、砺波地方の代表的家屋を再現しています。

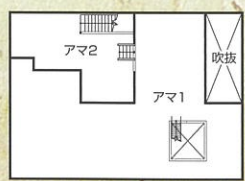
また、屋内では、「イロリ」や「シバヤ」など、屋外には、納屋、灰小屋を配置して、散居農家の屋敷配置となっています。



伝統館



1階平面図



2階平面図



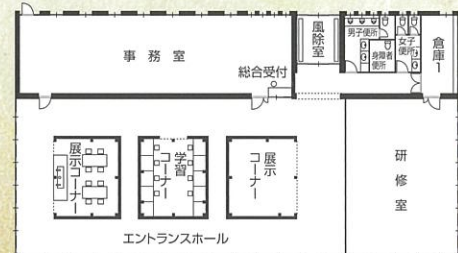
散居村を楽しく学べる

情報館

情報館は、砺波地方の伝統的な家屋様式の「マエナガレ」をイメージした建物で、総合受付案内、となみ野田園空間博物館の拠点施設となっています。散居村の良さを感じられる展示コーナーや学習コーナー、特産品の創作活動などに利用できる体験コーナー、研修室があります。



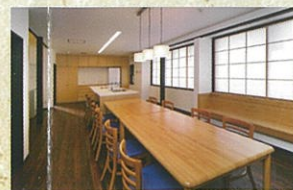
情報館



平面図

アズマダチで今に暮す

交流館

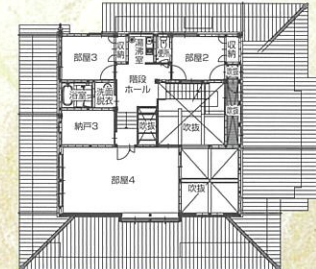


交流館

1階平面図



2階平面図



散居村ミュージアム

となみ

過去と未来をつなぐ、4つの館

砺波平野の散居景観は、日本の稲作農村を代表する景観のひとつと言われています。

「となみ散居村ミュージアム」は、

その景観を保全するため、

豊かな景観や伝統文化を全国に発信し、

地域の賑わいを創出するために構想された、

「となみ野田園空間博物館」の拠点施設です。



国指定重要文化財がある

民具館

民具館は、散居村で生まれ、砺波の風土に適應して作られ、人々に愛され親しまれてきた民具を、広く公開する建物です。先人が使いやすいように改良を加え、引き継いできた庶民の生活の知恵を学び、民俗や歴史を深く知ることができます。



民具館



2階平面図



1階平面図